

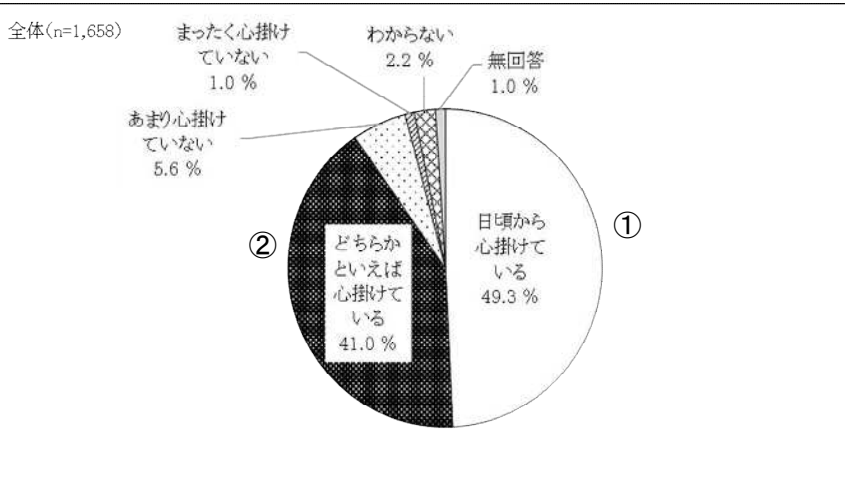
指標 通番	政策指標名	現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度	指標の定義・説明	出典	担当部
56	日頃から消費生活においてトラブル回避を心掛けている市民の割合	49.3% 令和4(2022)年度	70.0%	90.0%	設問に対して肯定的な回答をした人の割合	新潟市 次期総合計画成果指標に関するアンケート調査	市民生活部

目標設定の考え方（関係データ）

出典：次期総合計画成果指標に関するアンケート調査(新潟市 令和4年)

14. 消費生活について (1) トラブル回避について

14-1 あなたは、商品の売買やサービスの利用時に、トラブル回避を心掛けていますか。
(○は1つだけ)



【全体結果】

商品の売買やサービスの利用時のトラブル回避について、「日頃から心掛けている」（49.3%）と答えた割合が最も高く、半数を占めた。「どちらかといえば心掛けている」が41.0%、「あまり心掛けていない」が5.6%、「まったく心掛けていない」が1.0%となった。

■ 目標設定の考え方

デジタル社会の進展や高齢人口の急増など、社会情勢の変化に応じて、消費者トラブルは次々と新しい手口が生まれ、誰もが被害に遭う可能性があることから、市民の意識をより高める。
⇒ 現状値において「① 日頃から心掛けている(49.3%)」「② どちらかといえば心掛けている(41.0%)」を合計すると、心掛けている割合は90%以上を占めているが、一段高い目標を目指して、最終年度(2030年度)までに全体の9割が「日頃から心掛けている」状態になることを目標とする。この目標は、他の同様な指標を設定している政令市を上回る目標となる。
(中間目標値は、現状値と最終目標値の差を近似直線により補完した数値とする)

(参考) 性別・年齢別内訳

